

**製品名:** EphB2 マウスモノクローナル抗体

**カタログ番号:** AMM80642

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

## 抗原情報

遺伝子名	EphB2
別名	DRT; ERK; CAPB; Hek5
遺伝子 ID	2048.0
SwissProt ID	P29323
免疫原	E. Coli で発現した EphB2 (aa17-200) の精製された組み換え断片。

## 背景

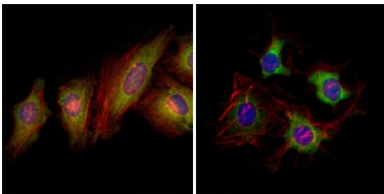
EphB2: EPH 受容体 B2。エフリン受容体とそのリガンドであるエフリンは、特に神経系において、多くの発達過程を媒介します。エフリンは、その構造と配列関係に基づき、グリコシルホスファチジルイノシトール結合によって膜に固定されるエフリン A (EFNA)

クラスと、膜貫通タンパク質であるエフリン B (EFNB) クラスに分類されます。Eph ファミリーの受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて 2 つのグループに分けられます。エフリン受容体は、受容体チロシンキナーゼ (RTK) ファミリーの最大のサブグループを構成します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、エフリン B ファミリーメンバーの受容体です。

## 研究分野

-

## 画像データ



EphB2 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞 (左) および HepG2 細胞 (右) の免疫蛍光染色。赤: DY-554 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。